



第 65 回教育委員会対象セミナー報告書 報告者：井上真砂美

日 時：令和 2 年 2 月 13 日（金） 13：00～17：00

研修内容：IT 機器の活用と管理 ICT 機器の整備計画・校務情報化の推進

研修対象：全国都道府県・市町村教育委員会の情報教育・施設担当者

研修会場：名古屋銀行協会（名古屋市中区丸の内 2-4-2）

参加者：井上真砂美

主な内容

「IT 機器の活用と管理 ICT 機器の整備計画

・校務情報化の推進」

I、「教育情報化の最新動向—GIGA スクール構想の実現—」

講師：文部科学省 情報教育・外国語教育課長 高谷浩樹氏

（遠隔での講演）

II、「ICT 活用で科学的な思考力を加速」

講師：江南市立西部中学校 教諭 岩田智文氏

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想の実現パッケージ

IT(Information Technology)

ICT(Information and communication technology)...

IoT(Internet of Things)

AI(Artificial Intelligence)

1、未来を創る子供たちのために ハード・ソフトの両面から教育改革「GIGA スクール構想」が始まる。※教育のグローバル化、効率化が図られる。

・教師・教育現場による ICT 活用が加速。世界と比べ日本は遅れている。

デジタル教科書の活用や CBT (Computer Based Testing) が普通に使われることから始めていく。まずは、授業でできることからとして、文具として使うことが挙げられる。効率的に活用することで、教師の働き方改革にも利用する。

2、教育の情報化の最新動向 ～GIGA スクール構想の実現～

(ア) 国の動き【学校教育の情報化の推進に関する法律】

令和元年 6 月 21 日成立、6 月 28 日公布・施行

学校教育の情報化の推進に関し、基本理念、国等の責務、推進計画等を定めることにより、施策を総合的かつ計画的に推進し、もって次代の社会を担う人材の育成に貢献する。

(イ) 学習指導要領改訂の背景・趣旨

来るべき未来の予測；

(1) 「今後 10～20 年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」

※英オックスフォード大学 マイケル・A・オズボーン准教授

(2) 「子供たちの多くは将来、今は存在していない職業に就く」

※ニューヨーク市立大学大学院センター キャシーデビットソン教授

⇒学習指導要領改訂の方向性

予測できない変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための力を子どもたちに育む学校教育の実現を目指す。

3、プログラミング教育を推進し、深める取組

・ねらい：プログラミング教育は、コンピュータを働かせる「プログラミング」をプログラミングする体験を通して、かつ、生活を支えるテクノロジーの仕組みや問題解決法を学ぶ。

・①どのような教科で ②どのような内容の授業を ③どのように配列すればよいのか

知識・理解：コンピュータの仕組み、コンピュータにできることと苦手なことに気付く。

思考力・判断力・表現力：コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的な思考ができる。

学びに向かう力、人間性：コンピュータを問題解決のために利用できる。

4、企業展示；GIGA スクール構想補助対象製品・システム多数展示 一人一台用端末、校内 LAN、電源キャビネット、電子黒板、プロジェクタ、校務システム、コンテンツなどの展示

5、教科の本質を置き去りにした活用は、NG!!

時間的距離的な制約、物理的な障壁を乗り越えるために ICT 利用を推し進める。

(例) 理科実験結果を共有化して、データの集約を目的に使う。⇒学びの本質を押さえるなど、教師の工夫によって学習を効率的に進めることが必要である。

6、今後の方向性

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会、に続く 5 番目の社会 (Society5.0) が構築されていくことになるだろう。それは、①快適で②活力があり③質の高い生活を目指していくことになる。年齢・性別に関係なく皆に恩恵があり、日々の暮らしが楽々で楽しく、煩わしい作業から解放され、時間を有効活用。より便利で安全・安心な生活。

必要なものやサービスを、必要な人に、必要な時に、必要な分だけ提供する。

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合する。

⇒経済発展と社会的課題の解決を両立する。

IT 機器、ICT 機器が世界を変えていく。それに対応できる将来を担う人を育てていかなければならない。